



# 金融商品取引法「適合性の原則」 確認サイトの構築 ～Web2.0で広がる金融の世界～

明治大学商学部 有路千悠  
小林裕史  
末松裕子  
遠矢真央

# 金融商品取引法 「適合性の原則」

## 適合性の原則

投資家の

知識

経験

財産の状況

契約の目的

投資家にふさわしい金融商品の勧誘・販売

# 金融審議会



Four circles are arranged horizontally at the top of the slide. From left to right, the first and fourth are solid light purple, while the second and third are white with a light purple outline.

## 現状の問題

「適合性の原則」が不明確



金融機関が判断しにくい



金融機関の店頭で混乱



金融商品の販売が停滞

A large, multi-pointed yellow starburst shape with a thin blue outline, serving as a background for the final text.

**客観的な判断基準が必要**

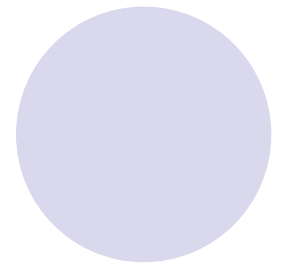
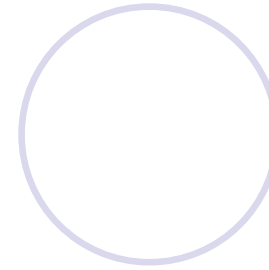
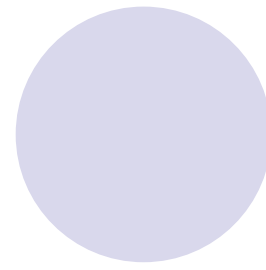
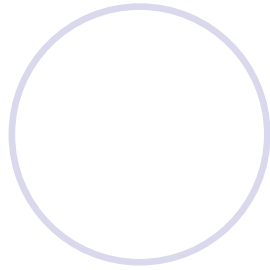
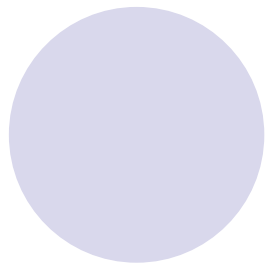
# 野村総合研究所 BESTWAY

- ・・・顧客との面談結果をデータベース化し、金融機関側から見た客観的な判断を支援するシステム。

民間企業のシステムを

公共目的に使うのは問題

→多くの国民による合意がない！



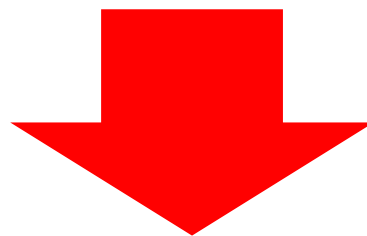
**判断基準に国民の意向を  
採り入れる必要がある！**



# 提案

**Web2.0**

[オープンソース + SNS]



「適合性の原則」確認サイトの構築



# オープンソースとは？

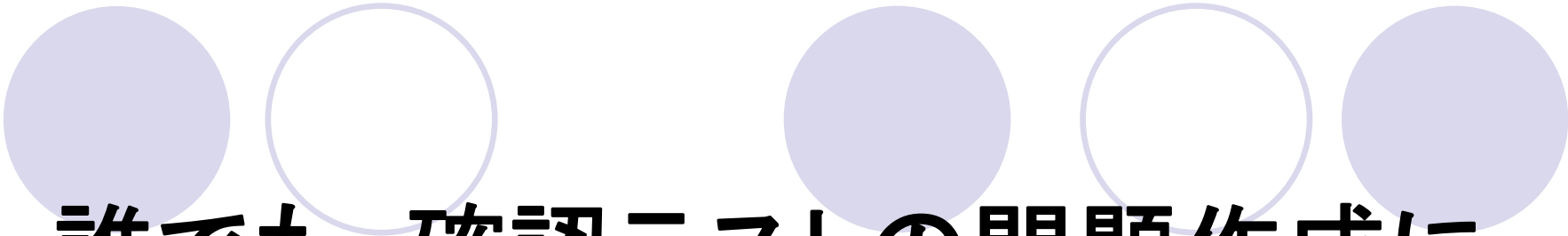
## オープンソース方式

→コンピューターソフトの設計図(ソース)を、公開することによって、誰でも開発に参加することができるソフト開発方式。

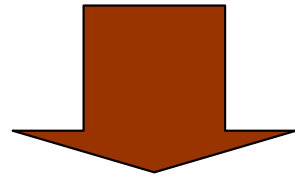
→例: Linuxなど。

Wikipediaも同様の発想による百科事典。





誰でも、確認テストの問題作成に  
参加できると、  
**変な問題**ができてしまうのではないか？



有識者で限定されたSNSメンバーのみ、  
問題を作成することができるようにする。

# 概念図

限定された  
SNS  
メンバー

参加

適合性の原則の基準  
テストの作成, 議論

オープンソース  
方式サイト



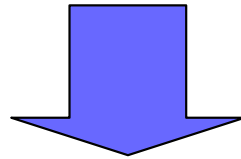
# SNSとは？

## SNS(Social Networking Service)

→コミュニティ型のWebサイト

→例：Mixi、Myspace、総務省

# 確認テストの成績と販売ができる 金融商品の関係の決定は？

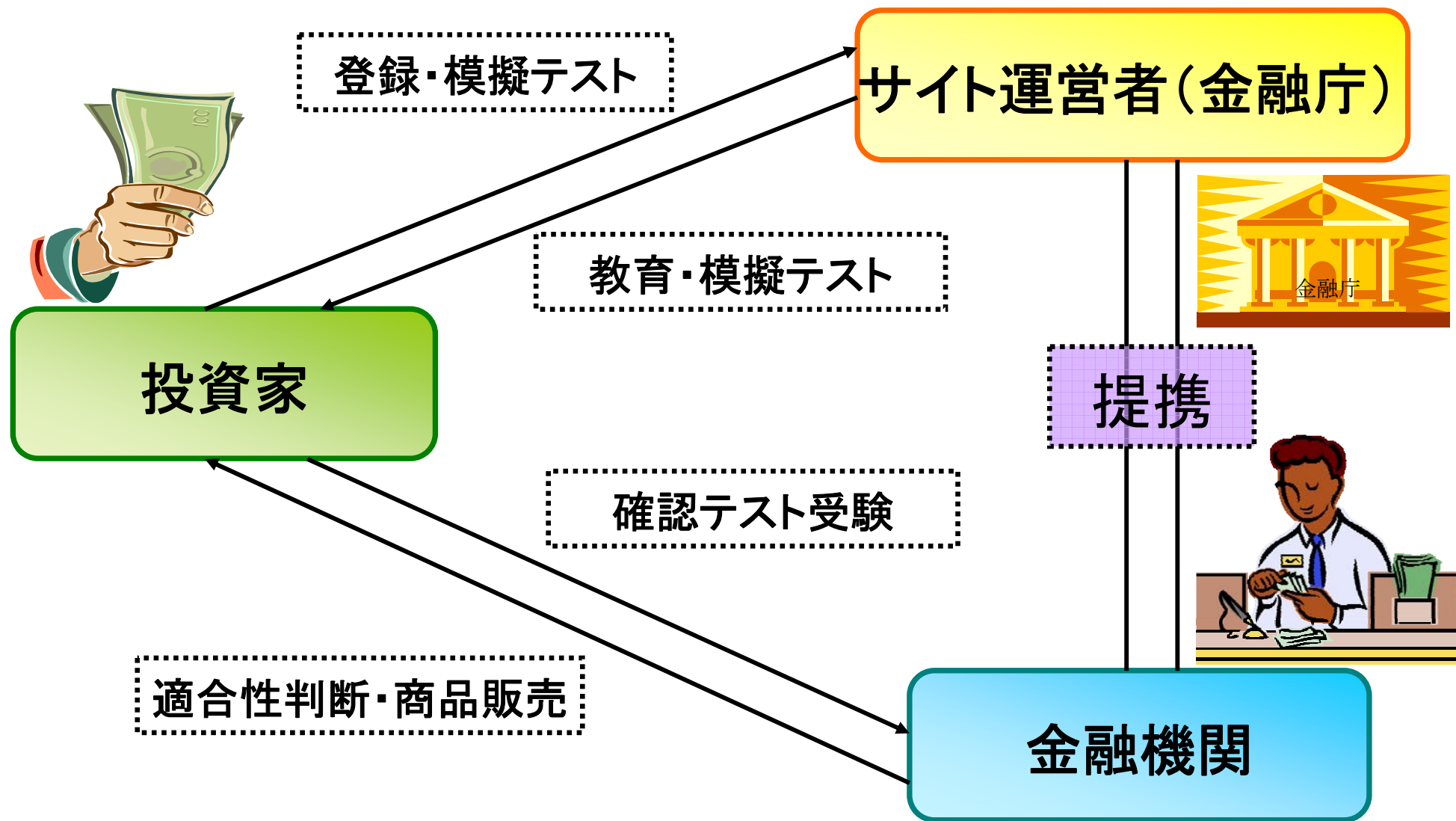


- 有識者で限定されたSNSメンバーが決定。
- メンバーの選定は公的機関が行う。

# テスト結果と金融商品の関係(例)

レベル5 80点以上	外国株式など
レベル4 60点～79点	日本株式など
レベル3 40点～59点	円貨建株式投信、外貨建公社債投信、REITなど
レベル2 20点～39点	円貨建公社債投信、外貨預金、変動年金保険など
レベル1 20点未満	円貨預金、日本国債など

# 投資家、金融機関、サイトの関連図

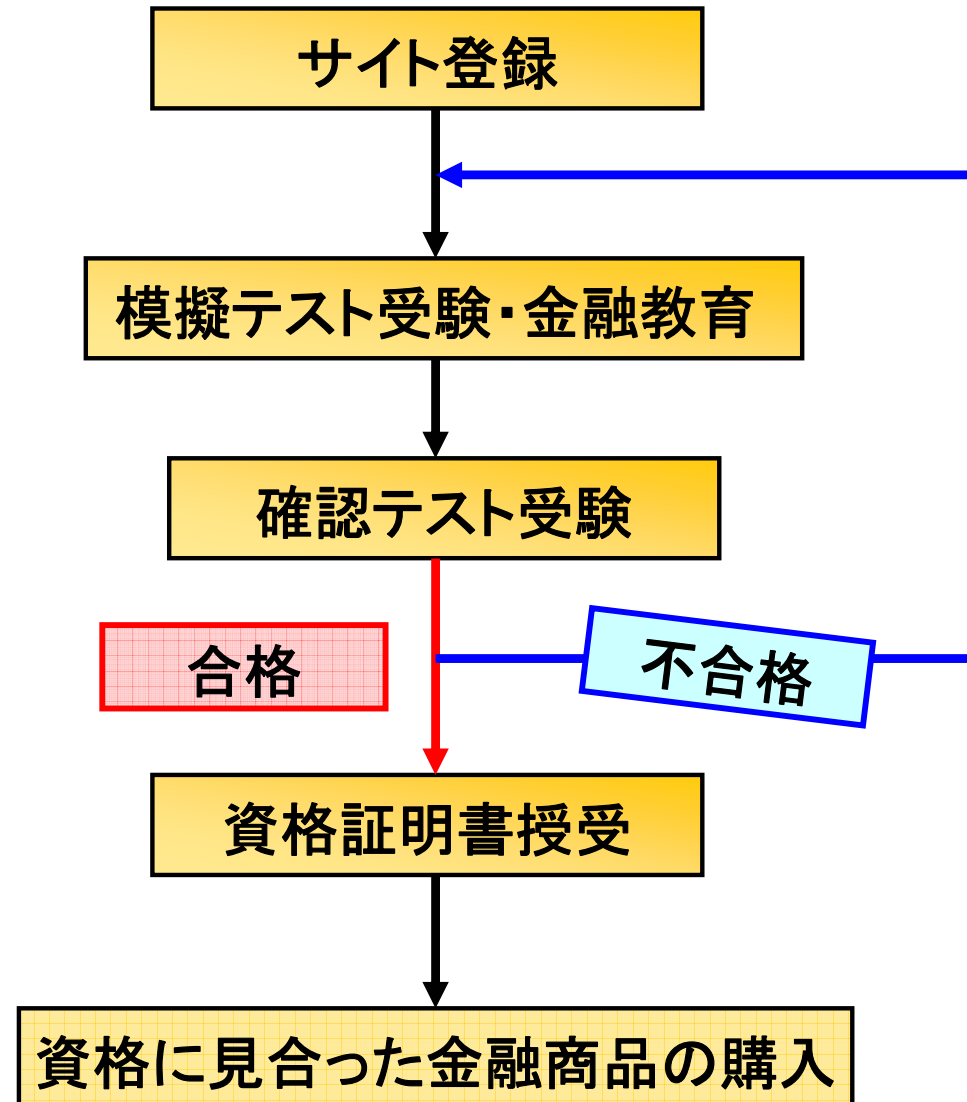


# サイト登録～金融商品購入までの流れ



サイト上

金融機関



# 金融機関窓口





# テスト問題

Aさん

(1) 公社債投資信託は、  
株式を一部組み入れ  
て運用することができる。

☐

○

☒

×



Bさん

(1) 公社債投資信託は、  
株式を一部組み入れ  
て運用することができる。

☒

○

☐

×



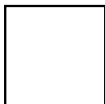
# テスト問題

Aさん

(2) 債券の中途換金は  
時々刻々変動する市  
場価格による。



○



×



Bさん

(2) 債券の中途換金は  
時々刻々変動する市  
場価格による。

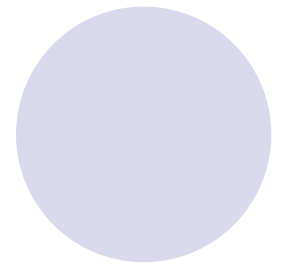
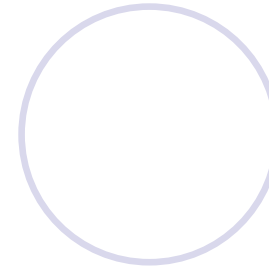
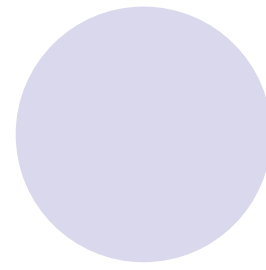
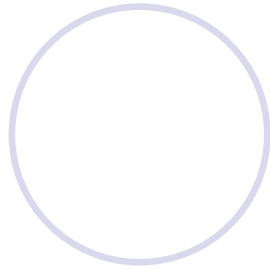
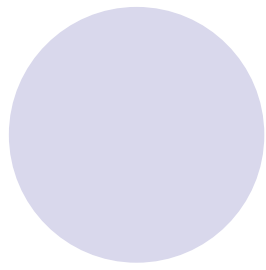


○



×



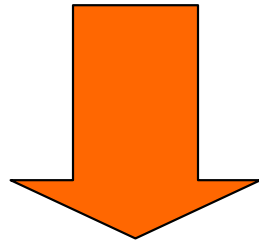


テストは続き...

## テスト結果

Aさん

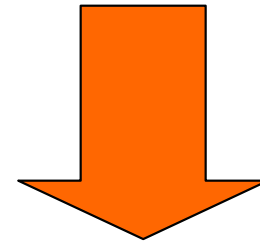
100点



あらゆる金融商品  
を購入可能

Bさん

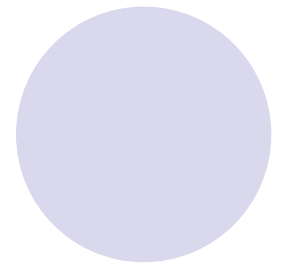
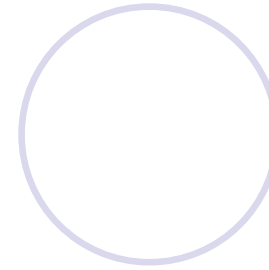
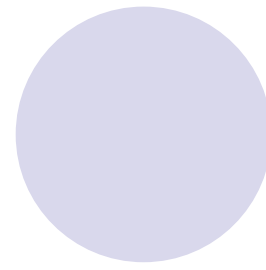
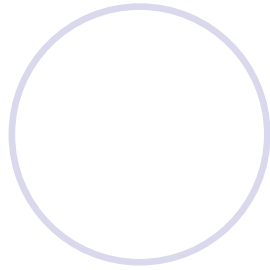
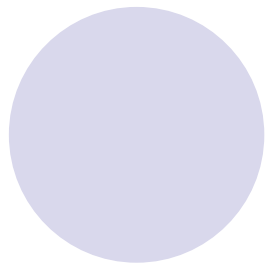
20点



リスクの少ない  
金融商品のみ  
購入可能

# テスト結果と金融商品の関係

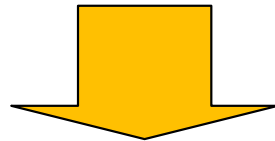
<b>レベル5</b> 80点以上	外国株式など
<b>レベル4</b> 60点～79点	日本株式など
<b>レベル3</b> 40点～59点	円貨建株式投信、外貨建公社債投信、REITなど
<b>レベル2</b> 20点～39点	円貨建公社債投信、外貨預金、変動年金保険など
<b>レベル1</b> 20点未満	円貨預金、日本国債など



# 課題と対策

# 課題と対策(1)

SNSのメンバーを誰が決めるか？



最初は、公的機関(金融庁)が決定。  
後は、在籍メンバーの紹介で決定。



# 総務省の会員制SNS

## 目的

→情報通信分野の政策を議論、立案、決定。

## 参加者

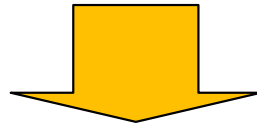
→総務省の担当者と大学教授など約100人で立ち上げ、5000人を上限に。

→参加には既存メンバーからの紹介が必要。

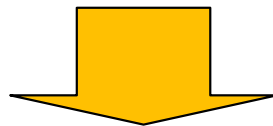


## 課題と対策(2)

有識者の方がSNSメンバーになることを引き受けてくれるだろうか？



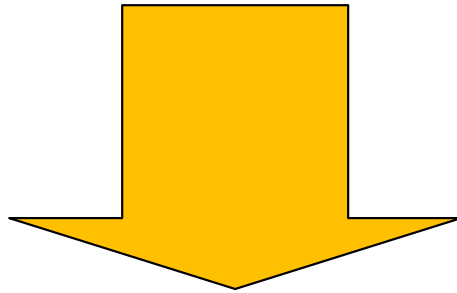
人は自己表現のために生きている



メンバーの名前を公表  
＝名誉職としてのステータス

## 課題と対策(3)

テスト結果と販売可能な金融商品の関係はこれでいいのか？



完璧な判断は不可能なので、  
SNSメンバーの投票により決定。

# オープンソース方式のメリット

たくさんの人の知恵を集めて、  
次第に発展していくこと。

従って、

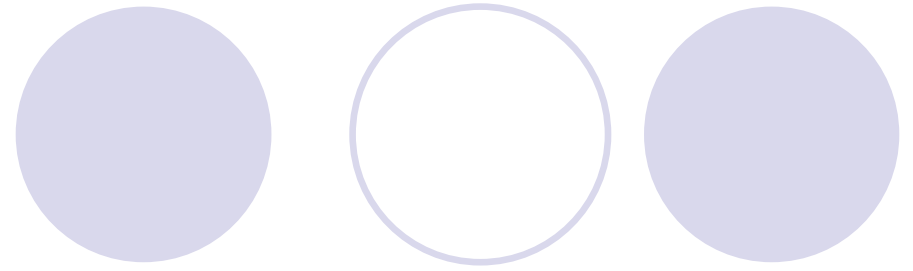
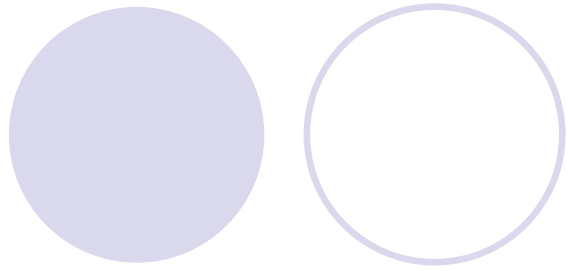
最初は完全なものでも、  
第一歩を踏み出すことが大切。



# 結論

このサイトの構築・発展が、  
「適合性の原則」が招いている  
現在の混乱を収束するための、

「明日への処方箋」  
となるだろう。



ご清聴

ありがとうございました。